

# 放送番組審議会議事録

燕三条エフエム放送株式会社

1、開催年月日 令和7年9月19日(金)

2、開催場所 燕三条エフエム放送会議室

3、委員の出席 6名

・委員総数 …… 8名

・出席者氏名…長谷部直美委員長、齋藤和也委員、諸橋美香委員、瀬戸明委員、野崎ミチコ委員、堀越巖委員(レポート提出)

・欠席者氏名…西山丈基委員、遠藤愛子委員

・事務局出席者…阿部傳代表取締役、阿部まゆ子局長、高井唯行

4、議題

(1)「県央のおもしろびと」(8月9日 11:00～11:35放送)

出演:高野一美(たかのひとみ)

ゲスト:山崎金属工業株式会社 代表取締役副社長 山崎修司

長谷部直美委員長

私には2回目の番組審議会で、まだ慣れない点がありますが、みなさまのお力を借りて審議が捗りますようお願いいたします。

それでは、今回も番組審議会よろしく願いいたします。

阿部代表取締役

9月21日に弊社開局27周年記念の公開収録イベントを行います。当日は燕三条青年会議所のイベントと被りました。弊社イベントの参加対象者は、高齢者が多いのでうまく棲み分けできると思いますが、審議委員の皆様には、ご都合よろしければぜひおいでいただきますようお願いいたします。時間は、11時から午後2時半くらいまで予定しています。午前は、歌のステージショー、午後はさとちんと、BSN ラジオの遠藤麻理、松本愛、さらに三条市長がゲストでいらっしゃいます。よろしくおねがいします。

この10月31日の再免許の交付に向けて準備しています。そのあとは、加茂市方向にエリア拡大で申請の準備に入ります。併せて弥彦村方向にも電波状況の改善に向けて改修する方向で動きます。これによって災害対策や経営改善につながると思います。特に加茂市は防災協定を結んでいないので、これを機会に進めてまいりたいと思います。

本日も番組審議をよろしくおねがいいたします。

長谷部委員長

全体的に司会の高野一美さんの優しい口調が耳に心地よいです。気になったのが、番組に出られたゲストさんの情報を知らない状態で聞いたので、誰なのか紹介が欲しかったです。

そして、どういう番組なのかという番組紹介があるといいです。

違和感を感じたのが、ゲストのお名前を言うときに下の名前で呼んでいたということです。名字の

ほうがいいのではないのでしょうか。

本編の中で「人殺しをしない」というコメントがあったのですが、気になりました。ゲストの山崎金属工業の山崎修司さんの受け答えがよかったです。

齋藤委員

自分もこの番組に5～6回ほど出ています。

番組の冒頭に、パーソナリティーから出演する企業の紹介があるといいと思いました。会社の歴史や内容を紹介いただいたほうが、聞いているほうからするといいです。きちんと紹介してから本編に入るといいですね。

本編ですが、ゲストさんの会社の話が長く、ゲストさん自身の話を聞きたいと思いました。また、耳障りな表現が出てきて気になりました。そういうところは、編集で切ったりしないのでしょうか。

インタビュー内容で、起承転結の展開があるといいと思いました。

野崎委員

パーソナリティーの「一美ワールド」という感じでよかったです。

ゲストの呼称で「修司さん」という呼び方が気になりました。知っている方はそれでいいと思うのですが、初めてその方のお話を聞く人は、下の名前と呼ぶのはどうかなど。

それと、「にわかファン」という言い方も気になりました。

諸橋委員

楽しく聞けました。ただ、皆さんが言われているように「耳障りな表現」が私も気になりました。

番組紹介をしてほしいし、ゲストさんがなぜ「副社長」なのか(普通だと社長が出るものかと思うのですが)、その辺の説明もあるといいです。

瀬戸委員

皆さんが言われていることに加えて、私はゲストさんに「アンケート」を取って事前に段取っていたほうがいいのかと思いました。

阿部局長

事前に打ち合わせは30分くらいしています。

瀬戸委員

なるほど。話の展開ですが、もっと深堀していろいろ聞いてほしいと思いました。それと、ゲストさんに対する呼び方ですが、私も気になりました。役職名とか敬称で呼んだほうがいいのではと思います。私は今回のゲストを存じていますが、なぜ工場長から副社長になったのか、それについても聞きたかったです。山崎さんは小さいころから商売のことを引き継がれてきたので。

阿部社長

私は聞いていて、途中で音楽を入れたほうがいいと思いました。ずっと喋りが続くと話が長く感じることがあります。以前、鈴木力燕市長が出られたとき、個人的な面白い話が聞けました。「県央のおもしろびと」はタイトル通り「面白い話」が聞ける番組です。趣味の話を聞いてもいいと思いますし。

それと皆さんがおっしゃられている「下の名前と呼ぶ」ことについてですが、私は親近感があっていいのかなと思いました。

諸橋委員

最初に、「ゲストの魅力を引き出す番組です」というコンセプトを言っていただくといいですね。

瀬戸委員長

番組の初めに「下の名前を呼ぶこと」について断りがあるといいんじゃないでしょうか。

阿部局長

一度きりではなく、毎年お呼びしているゲストさんもいます。年1回ですと、首長さんや議員の方などです。

阿部社長

長谷部駅長にもぜひ、この番組に出演してほしいですね。

長谷部委員長

私はおもしろくないですよ(笑)。

堀越委員(レポート提出)

・実績のあるベテランパーソナリティー(高野一美)が長年制作していることから、安定した語り口で、安心して聞くことのできる番組と思います。

ゲストの山崎副社長もモノづくりへの情熱、地域への愛など、話の引き出しの多さを実感しました。「レストランでマイクトラリー持参して店主とのエピソード」について、将来の夢(鎚起銅器職人)などは印象深い内容でした。

・あえて注文すると・・・

- ① 30分の中で起承転結の構成を意識しておくことも必要ではないでしょうか。まずは、企業人ですから、企業のプロフィール、ご本人のプロフィールは簡単に紹介したほうが企業情報を持たないリスナーには親切かと思います。
- ② 社の課題はもちろん、業界のことも含め、地域の課題などをもう少し深掘してほしい。少なくとも小職は100企業の課題を副社長としてどうとらえているか知りたかったです。
- ③ ノン CM で切れ目のない構成となっていますが、転換のタイミングが必要ではないでしょうか。おもしろ人の「おもしろリクエスト曲」をかけるなどの演出もありかも。

(2)その他 次回の番組審議委員会の日程について

次回開催は、11月26日(水)13:30～

5、審議機関の答申又は意見の概要を公表した場合におけるその公表内容及び年月日

自社放送 令和 7年 9月 26日(金)

書類のエントランスホールへの備置き 令和 7年 9月 29日(月)

自社 HP 上に記載 令和 7年 9月 29日(月)

6、その他、参考となる事項

特になし。